



女子体育

1 1976
11-30

発行
千葉県女子体育連盟
印刷
株式会社 集賢舎

ちば女子体育

覚悟を新たに



千葉県女子体育連盟
会長 三浦貞子

思うに、日本女子体育連盟は初代会長戸倉ハル先生の高邁な理想と卓越した指導のもとに、多くの障害と困難を乗り越えて今日の発展をきたしております。

千葉県女子体育連盟は、昭和三十一年結成以来堅実な歩みをつづけ、本年をもって満二十周年を迎えることになりました。これひとえに関係各位の暖かいお力添えと、会員相互の融和と協力の賜であり、ここに改めて感謝し厚くお礼を申し上げます。

発刊を祝して

独自の形態を!!



日本女子体育連盟
会長 松本千代栄

千葉県女子体育連盟が、創立二十周年を機会に、機関紙『ちば女子体育』を発刊され

るといふ。さきに第八回全国女子体育研究大会を主管し、その結束を固められた連盟が更に新しい歩みを踏み重ねられようとする事は、誠によろこばしい。心からお祝い申し上げます。

フィンランド女子体育連盟
創立八十周年の記念行事に招

わが千葉県におきましても年々その内容を充実し、講習会、研究会、発表会などを通じて自己研修に励み、資質の向上を図ってまいりました。文化の進展と共に国民の健康や余暇が問われる今日、体育の果たす役割は極めて大きくその使命はまことに重大であります。

ります。とくに女子体育への深い理解は、健全な教育の発展と社会体育振興のカギであるといっても過言ではないでしょう。

また、世界にも目を向け、国際交流を活発にして情報を交換し、互いに理解と協力によって女子体育の振興に寄与する覚悟を新たにするものであります。

20周年を記念して「ちば女子体育」を発刊するに当り、所信の一端を申し述べると共に、会員の一層のご協力と奮起を望んで止みません。

終りに、関係各方面のこれまでにも増してのご支援をお願いし、ごあいさつといたします。

かれ、北国ホクマイのきびしい冬のはじめを感じつ、帰国した夜この稿をおくることになった。

世界の女子体育、日本の女子と子どもの体育、その歴史性をふまえ、同時に各々の地域性に着目して、独自の形態をみい出そうとすることは、今日の体育の必須の課題であると痛感される。「ちば女子体育」の御発展をせつに祈りたい。